

県内外のマルシェなどで「全国の人に” あんず” を広めたい」
と子育てをしながら頑張っている「相澤農園」の相澤悦子さん

お住まいのアパートから長野市内にあるご主人のご実家へ毎日通い、あんず農家の後継者として日々奮闘している、相澤悦子さんにお話を伺いました。



◇それでは家族構成から教えてください。

☆主人と子供が1人です。男の子で4歳の年中です。保育園に預けてます。ご主人のご実家が松代で、あんず農家さんなんですよ。そうですね。じゃあ、お子さんを保育園に預けてから松代まで毎日行ってるんですか？そうですね。忙しい時期は毎日行ってます。今の時期は落ち着いてるので、委託加工したジャムなどのラベル貼りとかラッピングとかそういうものをやっているんですけど。それは自宅で？今はアパートが暑いので「松代に来ていいから」って言われて松代の家でやらせてもらってます。山なので涼しいんです。時間空いてるときは行って作業して帰るって感じで。ご自宅からなら20～30分位？そうですね。子供を保育園に預けてから松代の家へ行って作業して、また保育園迎えに行きたいことの繰り返しです。大変だ～。でも、嫁ぎ先の両親が良くしてくれるんで。楽しいです。

◇マルシェは月何回くらいやってるんですか？

☆えっと、だいたい季節が良くなってきたら月何回とか関係なしに、出られる所があれば出るって感じで、8月であれば9回位行ったりしてます。八ヶ岳のマルシェに行ったりして。お盆もずっと行ってましたね。私が行けない時は主人が1人で行ったりもしてて。あとは、善光寺の境内でやってる「びんずる市」とかチョコチョコと。マルシェとかは悦子さんが調べて？びんずる市は決まってるんですけど、八ヶ岳は出店者を探してるってことで紹介もらったりとか。まあ初めの頃は自分たちで探してとか取りあえず手探りだったんで、フリーマーケットとか行ったりとかしてましたね。やっていくうちに、ここが合う合わないが分かるので、そこから絞ってきたって感じですね。東京行ったりとかもあるし、長野県内を動いたり。東京は生のあんずが出ている時に2週連続行ったりとかしてましたね。逆に冬行くところがなくて、東京行けばあるんですけど、東京行くのに交通費とか宿泊費とか色々かかるんで。できれば長野県内、近場が一番いいんですけど、冬場は寒いからあんまりやってなくて。まあやってる所があれば行ったり、遊びがてら（笑）。何かのついでとかに行ったりしてるかな。ご家族みんなだね。そうですね。まだ子供が小さいので、どっちかが店番して、どっちかが子供の世話をしてって感じでやってます。ちょっと可哀相かなあとも思うんですけど。

◇ちょっと話が変わるんですけど、悦子さんは農水省でやっている農業女子プロジェクト

のメンバーさんなんですよ？

☆はい、そうです。このプロジェクトを知ったきっかけって何だったんですか？飯山で
米農家やってた方が、今タイに行っちゃってるんですけど。知ってます？野口樹里さん。
県の農業女子の冊子で見たのかなあ。名前はお聞きしたことがあります。そうなんですね。
色々出てと思うんですけど、私まだ農業女子に入っていなかったんですけど、その方と
知り合って「すごいことやってるなあ」と思って。その時ちょっとずつ色々私もやり始
めた時期だったんですね、ジャム作ったりとか。それで「これ何やってんの？すごいとこ
入ってるね。」みたいなこと言ったら、「誰でも入れるよ。」って感じで言われたんだけど、
その時はちょっと敷居が高いなあと思って、農業女子って。農水省だし、ちょっと私に
は無理じゃないって思って。で、軽井沢の星野リゾートのマルシェやってる時に、ほおず
き農家さんが農業女子入って「これって、どんななの？」って聞いたら、「これ、い
いよ～。応募してみればいいじゃん。」って言われて、勇気出して応募したって感じです。
そうなんだあ。農水省って聞くと敷居が高いなあって（笑）。県でやってる NAGANO 農
業女子とか、北信地域の N J 北信とかにも入ってるんですか？はい、入ってます。県の方
は2月に塩尻でイベントをやってるんですけど、その情報がはいってきたので「ちょっと
行ってみようかな。」って思って行ったのがきっかけで、そこで北信の農業女子の方に「北
信でもやってるから入らない？」って誘われたので、入れてもらって活動している感じだ
す。N J 北信は月1でみんなで集まったりして。そうなんだってね、飲み会やったりとか
って聞きましたよ。そうそうそう！今週末も飯綱の方でマルシェやるんですけど。あと N
J 北信で直売所やったりとか活発ですね。国の方も行けるときは行かせてもらってます。
セミナーとかたまにやったり、マルシェやったりとか。

◇マルシェで販売されているということで、県外のお客様がお求めになる商品はどういっ
た物が多いんですか？

☆ウチはあんず専門店みたいになっちゃって、関東の人にはすごくあんず受けが良くて、
ジャムとかシロップ漬けとかがよく売れるかなあ。あと、ヨーグルトにけるフルーツソ
ースがあるんですけど、オススメすれば結構買ってくれるかな。あと、あんずのアイスも
作って、それが珍しいっていうので買っていたりとか。あんずってそんなに出回
ってないのかな？はい、出回ってないですね。手に入れたくても入らないってよく言われ
て、直接問合せとかで送ったりしてますね。そうなんだ。私は岐阜出身なんですけど、あ
んずをよく知らなくて。たま～に給食で干しあんず出てた位なんですけど、「何これ？」
みたいな（笑）。よく分からない食べ物だと思って。そっかそっか、そういうイメージ
だったんだ。そうなんです。そういうイメージできてたから、主人の実家があんず農家っ
て聞いた時は「え～」って。でも、実家で熟したあんずを出してもらって食べたら「何こ
れ～、美味しいじゃん」って感じで、そこで一気に変わりましたね。長野県は果物王国だ
から何もかも美味しいです。岐阜のどこなの？ウチは大垣市なんです。あんまり有名じゃ
ないんですけど梨とか、ちょっと北行けば富有柿、南行けばみかんですね。みかんがある
の？そうなんですよ。「南濃（なんのう）みかん」というんですけど。え～、知らなかつ
た。暖かい所なんだね。そうですね、氷点下いけばみんな騒ぐほどですね。「今日マイナ

スいったよ」みたいな（笑）。そんな感じだったのに、こっちなんて本当に寒くて。耐えられないです。ホント寒いよね。えっと、県外のお客さんはあんず受けがいいってことなんだけど、県内のお客さんはどんな物を買っていかれるんですか？県内はどうだろう。直売所に置いておくとシロップ漬けが結構売れたりとかしますね。まあジャムは定番で、たぶんお土産に使われたりするのかなと思うんですけど。こっちは加工品を自分たちで作る人が多いので。そうだね。ジャムとか結構みんな作るよね。うん、そうですねえ。自分で作ったけど上手くいかなくてって話をされて、作り方を教えると「じゃあ、そうやって作ってみる〜」って言って。何が悪かったかを聞かれるっていいこともありますね。県内だとリピーターさんがいるので買っていていただいていますね。他の県で作ってる所は。青森があるんですけど、だいたい塩漬けとか加工にしちゃうらしくって、ナマで食べるっていうことがないらしいんですよ。青森の人にそうやって聞いたんですよ。”しそ巻きあんず”にするとか、梅みたいな扱いのようで。そうなんですね！

◇マルシェとかで農業女子仲間の方と一緒にやることも多いと思うんですけど、その農業女子の仲間から刺激になったり共感したりすることもあると思うんですが、どんなメリットがありますか？

☆みんな”熱い”というか、やる気がある人ばかりなんで。でも、やる気なくなって嫌だなあって思ってた時にみんなに会うと「ちょっと頑張らなきゃ」って思いますね。元氣をもらえる仲間なんですね。そうですね。そんな感じです。普通の人とは農業の話はできないんですけど、農業女子の人たちと集まった時はみんな農業の話ばかりしてます。「今、何やってる」とかそういう話とかもできるので。結構、家族でやってると孤独感はあるんですけど、みんなに会うと「みんなも頑張ってるんだ」って思えます。

◇悦子さんは岐阜県のご出身ということですが、長野県はどんなイメージでしたか？

☆長野県は好きでよく観光に来てたんです。自然がキレイだし、美ヶ原とかビーナスラインとかすごいキレイじゃないですか。なのですごい来てました。すごいいい所ですね。そうなんだあ。岐阜とはちょっと違いますね。夏は涼しいし、景色がちょっと違いますね。この前もハケ岳のマルシェから帰る時に、野辺山の辺を通ってきたんですけど「すごいキレイ」って思って。長野県の魅力っていうと、自然が多いとか。自然ですね。果物が多くて、りんごが美味しい。本当に美味しいと思います。

◇悦子さんのご実家は農家さんですか？いえ、全然違います。じゃあ、農家に嫁ぐってなった時に大変ってイメージはなかった？それが、結婚した頃は主人の仕事の関係で塩尻に

☆住んでたので、農家を手伝うとかそういうことは全く頭になかったんですけど、長野に引っ越して来てから主人が「あんずの販売をやりたい」って言い出して、私は「大丈夫？」って感じだったんですけど「なるようになる」みたいな感じで、あんずの販売を始めました。で、販売を始めるとお客さんに色々聞かれて、主人は小さい時から農業をやっているで答えられてたんですけど、私は答えられなくて「ちょっとこれマズいなあ」と思うようになりました。松代の家からは「無理にはやってもらいたくない、やりたくなければ別に

やらなくていい」って感じだったんですけど、手伝えれば分かることもいっぱいあるんで「お義母さん、ちょっと手伝おうか」って言ったら「え〜、ホントに。やってくれるの」って。それで始めたんです。そうしたらハマっちゃったんだ。そうですね、結構楽しいし、健康体になるし。農家を手伝うことになって、悦子さんのご両親やお友達の反応はいかがでしたか？「手伝うことになった」って言ったら母なんか「あんた大丈夫？収穫できなくなるといね、めちゃうちゃやっちゃダメだよ」って、そっちを心配されて。迷惑かけるんじゃないかと（笑）。お友達には農家のお嫁さんをオススメしたいですか？もう全然ススメたいですね、やる気があれば。たぶんやる気がなければできないと思う。結構同じことをやるので根気仕事なんですよ。飽きる人はちょっと無理ですかね。悦さんが小さい頃思っていた田舎とか農業とかって、どんなイメージでしたか？ん〜、ウチも田んぼの中の一軒家なんで、お米はいっぱい作ってる人がいて。あんまり聞かないけどチラチラと聞きました。友達にも農家の子はいましたね、隣の村の子とか。ゴールデンウィークに手伝ってるとか聞いたことはありますね。まあ、ウチは農家じゃないけど田舎は田舎なんで、農業は身近といえば身近ですかね。近くの田んぼや畑で仕事してるおばあちゃんとか見てたし、ウチの父親の実家も農家なんで、おばあちゃんが畑で穫れた野菜とかを持ってきてくれたりとかしてたので、全く関わりがない訳じゃないのかなって感じですね。

◇今まで、習い事とかスポーツとか何かやりましたか？

☆小さい時から、習い事いっぱいやってました。ピアノ、フルート、習字は大学まで続けてましたね。あとは、そろばん、これは2〜3年で辞めちゃいました。あと、水泳。ちゃんとやってたのはそれ位なのかな。ピアノとフルートは結婚するまでやってました。音楽の方へは進まなかったの？考えたこともあったんですけど、反対されて辞めました。じゃあ小さい頃にハマっていたことはピアノとか？ピアノは弾いてたなあ、練習しなきゃならないし。その頃はゲームとかも流行ってたし、自転車乗って駄菓子屋に行ったり、外で遊んでることが多かったかもしれない。ウチの中にはいなかったですね。お子さんはまだ小さいけど、習い事とか何かさせたいと思っていますか？今ピアノやってます。そうなんだ〜。いくつ位から？えっと、3歳位だから、もうすぐ1年経つかなあ。あと、市の広報に載ってたんですけど、キッズダンスっていうのがあって、「それやりたい」っていうから申し込んで。それは9回だけなんで、その後も続けたいって言えば「どうしょっかな」って感じで考えています。今は学校もダンスは必修だからね〜。そうなんですよ。そういうのもあって、何か得意なものあればいいかなあと思って。あと習字もやらせたいなあ。字がキレイだといから。

◇子育て・家事・お仕事と両立をするにあたって大変なことは何ですか？

☆時間が足りないことかな。子供がいるときに仕事すると怒っちゃうし。昨年、あんずのバック詰めとかしてた時に、子供に「遊ば遊ば」って言われてもなかなか相手をしてあげられなかったら怒っちゃって。「あんず大っ嫌い」って”あんず”の上に乗ってた主人に怒られてました。でも「ここにいれば相手してもらえ」っていう頭があるんだと思うんですよ。「もうちょっとやったら遊んであげるから」ってなだめながら仕事してまし

たね。まあ今年はだいぶ良くなって一人で遊んだりしてますけど、たまに怒ってます。ピアノやらせたりとか？そうそうそうそう！それもあるんですよええ。レッスンさせなきゃいけないし。でもそんな簡単には練習しないし。大変なことの反対に両立して得るものってありますか？なんだろうな。時間の使い方がうまくなったかな。これやってる間にそっちやるとか、そういうのはあるかなあ。なるほどね～。お子さんと触れあう時間って毎日の位ありますか？どうだろう、保育園帰って来てからそんなにないかなあ。一緒に遊んでも1時間位かなあ。絵本読んだり、トミカのミニカーで遊んだり。あとはもうお風呂入れたの、歯磨けだのって感じですね。あと、あんずが終わるとその後りんごの収穫まで時間ができるので、毎年岐阜の実家に帰ったり、遊んだりしますね。子供が「かねふく」のめんたいパークのキャラクターにめっちゃはまって、小さいのと大きいぬいぐるみをいつも持って歩いてるんで、大阪や愛知のめんたいパークに行ったり、レゴの水族館とかに行ったりしました。遊びはその時期にまとめて遊ぶみたい。マルシェが始まるのはいつ頃から？そうですね、4月位からちょこちょこ始まって、秋が一番多いかもしれない。季節がいいのでイベントだらけなんで。今がちょうど忙しいのかな。そうですね、土日がいたいメインなんで。お忙しい毎日の中で両立されてる悦子さんですが、ストレス解消法ってありますか？そうですねえ、例えばカフェ行ったり、ちょっとした時間に。のんびりっていえば、やっぱりカフェかなあ。一人で。あとは、ピアノも弾きたいしフルートも吹きたいんですけど、アパートなのでできなくて。来年、家建つのでそれまではガマン。そうなんだ～。それまでガマンです。岐阜の実家に帰ったときに弾いたりとかはするんですけど。普段は電子ピアノで弾いてます。

◇悦子さんは加工品とか作ってらっしゃるのでお聞きするのもどうかと思うんですけど、お料理は好きですか？

☆私は実を言うと苦手です（笑）。主人が料理大好きなんで、作ってくれますね。2～3日料理しないとストレス溜まるって言われて。仕事から帰ってくるのもこっちに来てから早いので。以前は帰りが遅かったのが私が作ってたんですけど、こっちに来てから6時位には帰ってくるんで夕飯は作ってもらいます！すごいやりたい人なんで。料理は主人に任せて、あと洗い物は私なんですけど（笑）。

◇ホームページにご主人が「子ども向けの科学教室」をやってるって拝見したんですけど、頻繁にやってるんですか？

☆教えるのが好きで、もとは佐久の子ども未来館でやってる「宇宙少年団」というのがあって、そこで子供に教えたりとか、お手伝いとかしたりしてて、塩尻にいる時は科学教室とか、何かのイベントの時に声かけてもらって科学教室を年2回位やったり、今は長野で「キッズサイエンス」というのを高専でやったりとかビッグハットでやったりとか。松代でもやりたいって言って、おやき屋さんが場所を貸してくれるっていうんで、そこで科学教室始めたりとかしてますね。東京とかって理科系の勉強をする場所がたくさんあるのに、長野は少ないんで不満なのかな。この前も家の中で実験やってて。私からすれば趣味ですね。自分が科学を教えたいんだそうです。すご～い！土日はなんかやってないと嫌

みたいで、何か予定入れないってことでマルシェやるか科学教室やるかで、のんびりすることが嫌みたいです。私はそんな時間ほしいんですけどね（笑）。ジャムを作る体験セミナーっていうのも開いたってことなんだけど。あ～、1回東京でやりました。ご主人と色々一緒にできるっていうのはいいですね。活動の幅が広がるしね。そうですね～。農作業は、そんなにやってないのかな？ だいたいゴールデンウィーク前から7月中旬位まではもう毎日手伝って、それから暫く作業がなくなるので空くんですね。また秋になったらりんごの方が入ってくるので、それを終わる位まで手伝うかな。そういう作業をする時に「こういうのがあればいいなあ」とかってありますか？ いつも困るのは日焼け対策。農業の女子の皆さんが声を出して知恵を出して、色々商品化してるっていうのもありますよね。帽子とか、可愛いのかね。ありますね。あんまり覆っちゃっても暑いしね。そうなんです。だから農作業着も農協とか行って綿100%とか探してきたりして。涼しそうな選んだり。JAファームはすごく行ってます！

◇将来に不安はありますか？

☆そうですね、今はまだ両親が元気なのでいいんですけど、できなくなった時にどうなるかが一番不安かもしれない。加工は加工所をお願いしてるので全然いいんですけど。加工所はどちらに？ 今は、塩尻と飯田の方をお願いしてて、さすがにあんずの時期に加工は到底ムリなので、ウチが加工所持ってないっていうのもあるんで外注でお願いしてます。いずれは加工所も作ったりとか考えてますか？ お菓子を作る加工所を作りたいって主人が言ってました。今後、新たに始めたい事ってありますか？ 色々やり過ぎてて今は始めたくないです。そうじゃなくても時間足りないって言うてるのにね。ネットショップも今全然動かしてないから、そろそろやらなきゃいけないし。そっちもやってるんで大変です。

◇農業をやって良かった事ってありますか？

☆健康になる。体を動かすことがいいですね。あと、自然の中で作業するって気持ちいい。

◇これからの夢や希望があれば教えて下さい。

☆あんずはまだまだ知られてないので、全国の人に知ってもらいたいっていうのはありますね。若い力で頑張ってくださいね！

県内外問わずマルシェに出店している相澤家の皆さん。悦子さんのお話を聞いていると「なんてフットワークが軽いだろう」と感心する事ばかり。悦子さんは、農水省で行っている「農業女子プロジェクト」や、北信地域で行っている「NJ 北信」のメンバーさんでもあり、農業女子仲間との触れ合いが悦子さんを活き活きと輝かせているのではないかなと感じました。子育て真っ最中にも関わらず、あちこち動き回り多忙な生活を送っている悦子さん。フットワークの軽さと明るい人柄が周りの人を惹きつけるのだと思います。そんな悦子さんに出会えたことに感謝です。ありがとうございました！

マッキーがおじゃまします！

関東農政局長野県拠点

